

## 第2回 運営推進会議議事録

2017(H29).8.18

抱樸館事業部長・高橋一誠

日時；2017（平成29）年7月25日（火）16:00～17:15

場所；八幡東区東鉄町7-11 NPO法人抱樸 抱樸館北九州 1階  
デイサービスセンター抱樸 デイルーム

\*司会進行—高橋

### 1、参加者確認

第1回と若干メンバーが変わったので、自己紹介から始めさせていただいた。  
(敬称略)

	所属・役職等	氏名	出欠
	荒生田一丁目東公園愛護会 会長	渡邊 久子	○
	北九州市社会福祉協議会 介護相談員	岡田ヒロ子	○
	ケアプランセンターはぴるす 介護支援専門員	高田 和子	○
	NPO法人抱樸 八幡サポートセンター 支援員	森 文乃	○
主催者	NPO法人抱樸 常務理事	江田 初穂	○
	〃 抱樸館事業部長・抱樸館北九州館長	高橋 一誠	○
	〃 抱樸館事業部 デイサービスセンター抱樸 管理者	ほうずみ 宝住真知子	○

<オブザーバー> デイサービスセンター抱樸 職員

江口 功泰 (○)、阿部由美子 (欠)、川内 雅代 (欠)、森岡 綾子 (欠)、  
上村カズ子 (○)

### 2、前回（第1回・1/24）議事録案内

前回終了後、送付・確認いただいていたが、メンバーが変わったこともあり、「運営推進会議」の趣旨の部分再度案内し確認した。

事業所の提供しているサービス内容の報告、実施した行事や発生した事故等の報告を行い、評価や助言を受けることにより、サービスの質の向上を図る。

### 3、「デイサービス抱樸」の現状

#### (1) 資料に沿って

デイ管理者・宝住より報告。

①H29年1月～7月のようす

一覧表およびパワーポイント（24枚）で、外出レク、季節ごとの催事、誕生会、壁絵などを案内した。

②NPO 抱樸総会提出資料——デイ 2017 年度事業計画、2016 年度事業報告

総会資料により、以下のように案内した。

- ・利用者が団体競技的なもの（「赤あげて」「白上げて」の旗上げ、ボール運び等）に取り組めるようになったことで、（利用者間の）連帯意識も深まってきている。
- ・H28 年 5 月には定員 10 人の『10 人』を初めて達成した。
- ・日平均利用者数が前年 6.32 人から 7.60 人となった。
- ・『運営推進会議』についても、第 1 回を H29 年 1 月に開催し、外部の方々から見た『デイサービス抱樸』についての意見をきく初めての機会だったが、貴重な、また、温かいご意見をいただいた。今後とも、開かれたデイサービスとして機能するための重要な機会と位置付け、定期開催に臨みたい。
- ・デイ抱樸のめざすものとして、利用者が「ここに来てよかった、と思える運営」「穏やかで楽しく生活できる場所」、また、「スタッフが日常的に切磋琢磨するとともに、緩急をつけた職場運営を目指す」等。
- ・現状の課題として、利用者の高齢化に伴いますます日常の健康管理が大事になっている。また、入院による経営的な落ち込み等。

③利用者一覧および曜日別利用人数

- ・別紙に沿って案内した。

7 月 1 日現在、登録者数 16 人

1 週間の利用者数 46/50 枠

月=9 人 火=8 人 水=9 人 木=10 人 金=10 人

④登録者数の推移および利用状況

- ・別紙に沿って案内。

今年、1、2 月、かろうじて 3 月までは日平均利用者数が 7.5～8.4 人と順調だったが、2 月から 1 人、3 月から 2 人が入院となり、それが 4、5、6 月まで尾をひいた。2 人が 5 月、6 月に各々復帰され、7 月になってようやく元に戻りつつある（7 月予定 8.5 人/日）。

以上の報告までで、一旦、質疑応答を行った。

Q. 入院の原因は？

A. 精神面の方、圧迫骨折の方、腎盂炎の疑いの方だった。

Q. 説明の中で「営業」ということばがあったが、何か営利を取っているように感じ、気にかかる。「開所」とかいうのではないのか。

A. 介護保険は利用者は（1 割負担だが、総額として）多額の利用料を払って利用されている。そのことに応えられるようにサービスを提供する必要があると思っている。自分は自戒も込めて「営業」と使っている。

- O. 「自戒を込めて」ということでよくわかった。
- O. 介護保険制度自身が「サービス」という言葉を使うので「サービス」（無料？ボランティア？）と思っている人もいる。サービスする側も「してあげている」と思っている。自分は「させていただいている」と思うようにしている。
- O. トップが悪ければ、職員がどんどん辞めて、入れ替わりが激しくなる。上がしっかりしていれば定着する。
- Q. 入浴後の薬塗布が多いとのことだが、（職員の）感染症対策は？
- A. 各人ごとにプラ手袋着用しているし、十分注意している。

#### ⑤インシデント、苦情等

別紙「ヒヤリハット、インシデント、苦情等報告」に沿って報告した。

事例1（インシデント）	78歳男性	体重測定時のしりもち
事例2（インシデント）	80歳男性	ソファからのずり落ち
事例3（インシデント）	80歳男性	おやつ時の咽せ
事例4（苦情）	72歳女性	トイレ使用中の扉開け

各々について、内容、対応、原因、対策、報告を案内した。その上で質疑応答を行った。

- O. 報告するとき、こんなことで「おはずかしい」と言われたが、そんなことはない。こんな場に出ることが大事。ヒヤリハットがたくさん出てくる事業所は、それによって起きた事象への今後の対応はむろん、利用者・スタッフとの関係も改善されていくので、よい事業所と言われる。
- O. ヒヤリハットを書いた（出した）人が悪く言われるような職場があるが、そうではいけないと思う。
- Q. 「ヒヤリハット」とは何か？ヒヤッとして、はっと気づくということか。
- A. その通りで、業界用語と言うか、名詞化されている。

#### (2) 問題点

現在運営上の問題と意識している点について説明をし、次回までに、何等かの方策（方針）が出せればこの場でもご意見をいただきたいと考えている旨を伝えた。

##### ①利用者の入院時対応

- ・長期の休みで、退院の見通しがなかなか出ない場合の在籍について。

##### ②休みがちな利用者の対応

- ・プランはあるのに、本人が通所拒否される場合、どれくらいの期間在籍としておくのか。

##### ③昼食メニューについて

- ・現在抱樸レストランの昼食メニューを、デイの昼食としているが、高齢者向けの食事をどのように考えるか、周りの方々の協力も得てさぐっていききたい。

#### 4、質問、意見、感想

本日の会議に出席されての感想も含め、出していたください。

- . デイルームの中に入るとききれいに飾ってあるのに、外向けがさびしい。地域に向けてのアピールが足りない。窓を利用して何かしたらよいのでは。
- . 1回目と2回目は半年しか経っていないのに、ここまで違うのか、と思った。ヒヤリハットの件もあるが、よく利用者のことを考えていると思った。
- . デイサービスを含め抱樸館全体の地域の受け入れ態勢の変化はあるのか。
- A. こちらはいつでもウェルカムだが、特に変化はない。ただ、入居者に関して気づいたことを穏やかにアドバイスをいただいた。ここにいるおじさんたちが少しずつ変わって来ているのではないかとも思う。
- . とても大事な取り組みをしていただいているにも関わらず、地域に受け入れられないのは残念だと思っているので。
- . 自分は担当している利用者をデイ抱樸にたずねることがあるが、そこでは、普段私が見たことのない飛び切りの笑顔をしていることに本当にびっくりした。思わず、スマホで写真を撮った。自分が落ち込んだとき、それを見て元気をもらっている。
- . 問題点の「休みがちな利用者（保清や食事、社会参加の点からも必要と思っているが利用者を担当しているが、通所プランがあるのに、ここ何カ月も全く通所していない）」を担当しており、どうしたらよいか、とても気になる。周りの知恵を拝借したい。
- . 初めての参加だったが、地域にデイがあることがありがたいことだなあと思った。（参加者のみなさんに）利用者やスタッフを見て、ご意見をいただき変わっていただけたらと思う。ありがとうございました。

#### 5、次回開催予定

以下で一旦の確認をさせていただきます。

2018年（平成30年）1月30日（火）16:00～17:00 デイサービスセンター抱樸 デイルーム
---

以 上